

令和7年9月24日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）県立高等学校の果たすべき役割について

県立高等学校の果たすべき役割、また、学びのセーフティネットのさらなる充実と専門性に基づくチーム教育の体制の確立について、併せて教育長に伺う。

（答）

少子化に伴う生徒数の減少や、いわゆる高校授業料無償化など、高校教育を取り巻く状況が、大きく変化している中で、県立高校は、

- ・ 県全体の教育水準の維持・向上を図ること、
- ・ 生徒の多様な能力、適性、興味・関心等に応じた学びを実現すること、
- ・ 専門的な知識や技術を身に付けたい生徒や、働きながら学びたい生徒にも必要な教育を提供すること、
- ・ 県内各地域でこうした高校教育を受ける機会を確保することなどの役割を果たしていく必要があるものと考えております。

とりわけ、生徒の個性や多様な状況などに応じて、心身の発達を支え、将来の進路に向けて進むことができるようにすることが重要であり、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るとともに、各学校において、生徒との対話や相談を通して、自己理解とキャリア形成を丁寧に支援するなど、生徒一人ひとりのニーズに応じて、誰一人取り残さないよう、取り組んでいくところでございます。

こうした教育を進めるに当たりましては、生徒の抱える複雑化・多様化する課題に適切に対応していく必要があることから、県立学校では、校長を中心として、教務主任や生徒指導主事、進路指導主事などが役割分担しつつ、生徒一人ひとりの状況を、

- ・ 日常的な学校生活を指導するホームルーム担任、
- ・ 各教科の指導を担当する教科担任、
- ・ 心身の健康管理や保健指導を行う養護教諭などのほか、

ジョブ・サポート・ティーチャーや、心理や福祉の専門家など、多職種のスタッフとも連携・協働し、「チーム学校」として、生徒の成長を支える体制を整えているところであり、各学校において、しっかりと機能するよう努めて

まいりたいと考えております。

教育委員会といたしましては、生徒一人ひとりが持っている可能性を最大限に伸ばし、新たな時代を生き抜くために必要な資質・能力を着実に身に付けることが出来るよう、「チーム学校」として、教職員などが一丸となって取り組み、県立高校としての役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えております。